

## RD-6

Classic Analog Drum Machine with 8 Drum Sounds,  
16-Step Sequencer and Distortion Effect

JP

JP 安全にお使いいただく  
ために**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したものののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものののみをお使いください。

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

**法的放棄**

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

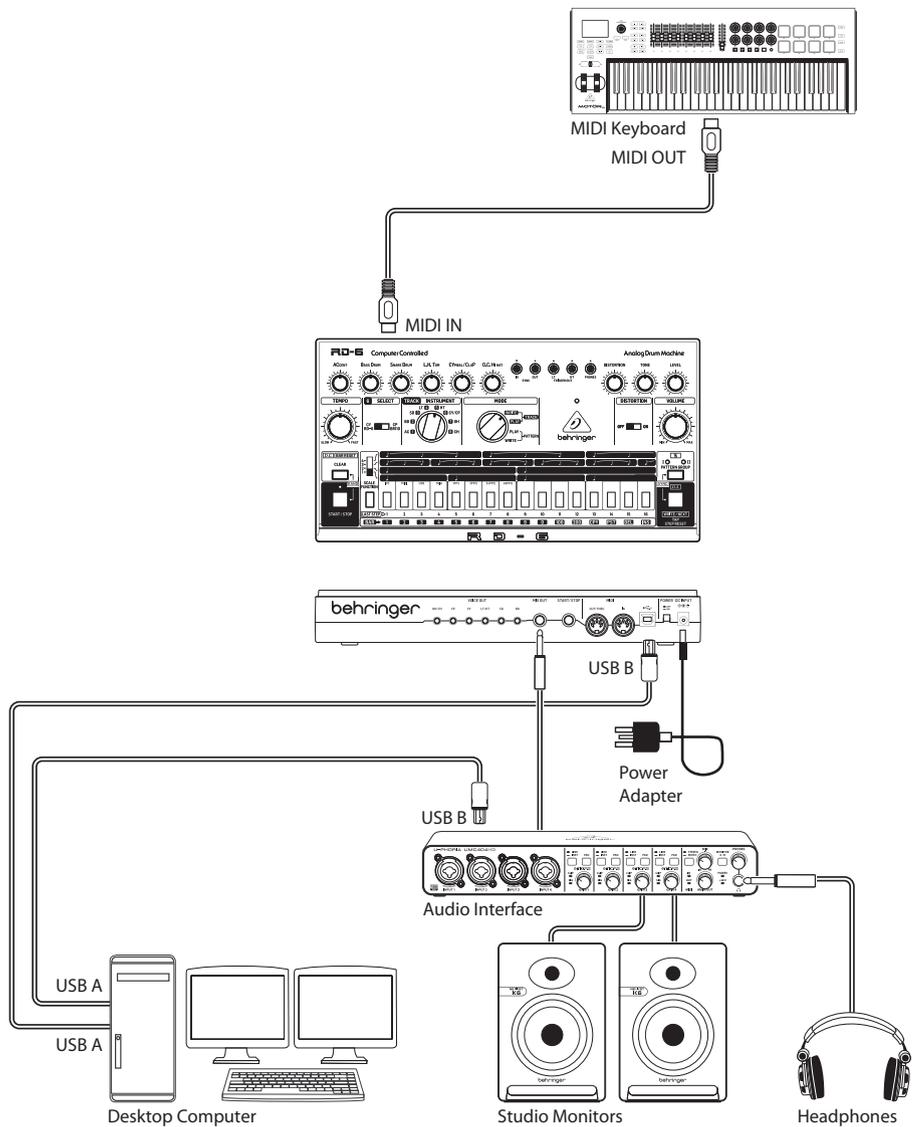
**限定保証**

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 [community.musictribe.com/pages/support#warranty](https://community.musictribe.com/pages/support#warranty) にて詳細をご確認ください。

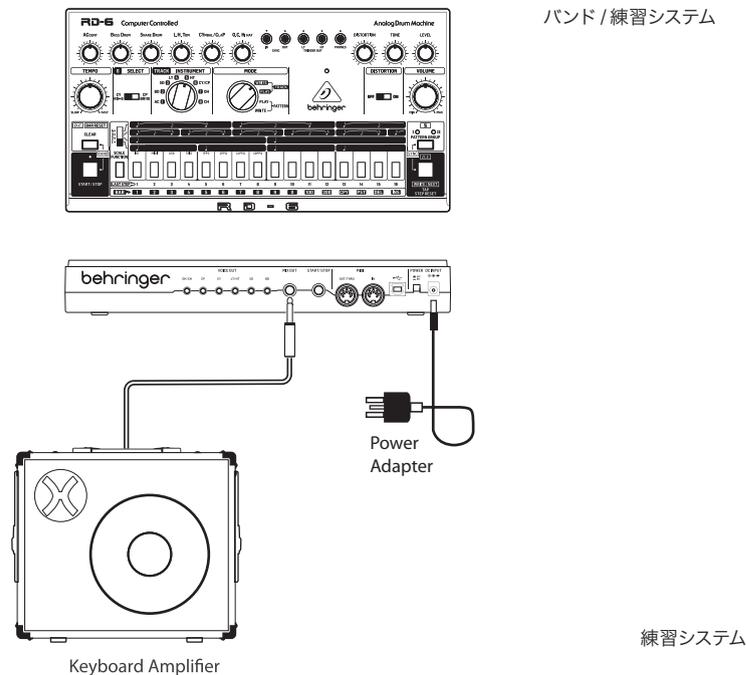
# RD-6 フックアップ

## ステップ 1: フックアップ

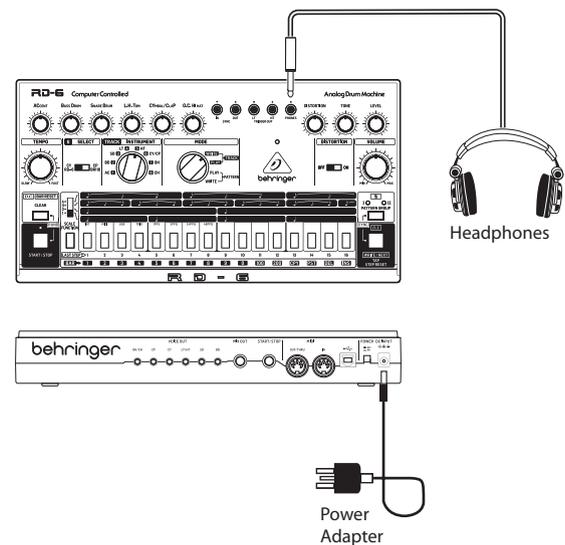
スタジオシステム



バンド / 練習システム

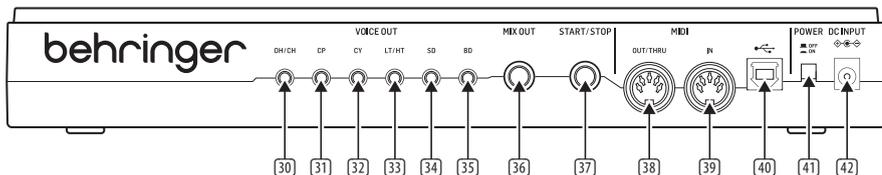
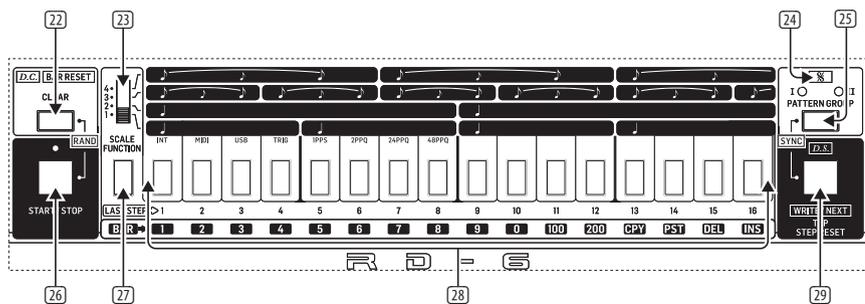
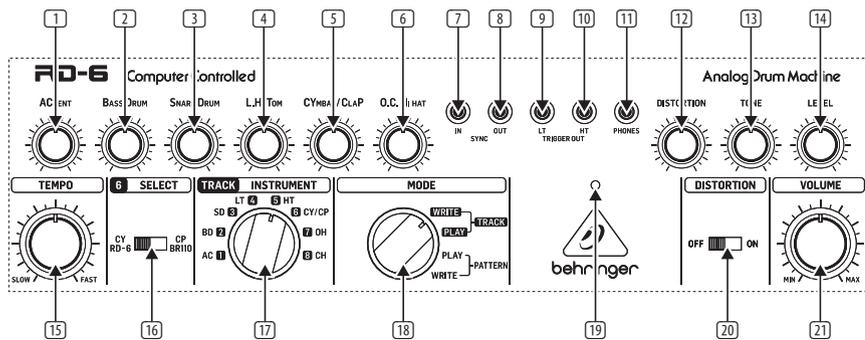


練習システム



## RD-6 コントロール

## ステップ 2: コントロール



## ボイス部

- ① **ACCENT (アクセント)** – アクセントがプログラムされたステップの出力に加える、アクセントの量を調節します。
  - ② **BASS DRUM (バスドラム)** – ミックス出力 (Mix Out) およびボイス出力 (Voice Out) に送信するバスドラムのレベルを調節します。
  - ③ **SNARE DRUM (スネアドラム)** – ミックス出力 (Mix Out) およびボイス出力 (Voice Out) に送信するスネアドラムのレベルを調節します。
  - ④ **LO HITOM (ローハイタム)** – ミックス出力 (Mix Out) およびボイス出力 (Voice Out) に送信するロータムおよびハイタムのレベルを調節します。
  - ⑤ **CYMBAL/CLAP (シンバル/クラップ)** – ミックス出力 (Mix Out) およびボイス出力 (Voice Out) に送信するシンバルおよびクラップのレベルを調節します。
  - ⑥ **OPEN/CLOSED HI HAT (オープン/クローズド ハイハット)** – ミックス出力 (Mix Out) およびボイス出力 (Voice Out) に送信するオープンおよびクローズドハイハットのレベルを調節します。
- パッチベイ (3.5 mm TS 入出力 接続端子)**
- ⑦ **SYNC IN (同期入力)** – 外部クロックおよびスタート/ストップ信号を使用する際ここに接続します。
  - ⑧ **SYNC OUT (同期出力)** – 外部クロックおよびスタート/ストップ信号を別の機器に送信する出力端子です。
  - ⑨ **LT TRIGGER OUT (LT トリガー出力)** – 外部機器をトリガーする +15V パルスを送信します。
  - ⑩ **HT TRIGGER OUT (HT トリガー出力)** – 外部機器をトリガーする +15V パルスを送信します。

- ⑪ **PHONES (ヘッドフォン)** – ヘッドフォンを接続するための 3.5 mm TRS 出力です。必ず音量が下がっていることを確認してからヘッドフォンを装着してください。

## ディストーション部

これらのコントロールは DISTORTION (ディストーション) スイッチ (20) がオンになっている間のみエフェクトがかかります。信号経路におけるディストーション回路の位置は、音量コントロールおよび最終オーディオ出力の直前となっています。

- ⑫ **DISTORTION (ディストーション)** – ディストーションの量を調節します。
- ⑬ **STONE (トーン)** – ディストーションのトーンを調節します。
- ⑭ **LEVEL (レベル)** – ディストーションのレベルを調節します。

## 一般的なコントロール類

- ⑮ **TEMPO (テンポ)** – パターンおよびトラックがプレイするレートを調節し、遅く/速くします。
- ⑯ **CY/CL (シンバル/クラップ) 選択** – ステップキーを、RD-6 CY (シンバル) または BR110 CP (クラップ) のいずれかより選択します。
- ⑰ **TRACK/INSTRUMENT (トラック/インストゥルメント) 選択** – 書き込む、または編集するトラックもしくはインストゥルメントを選択します。
- ⑱ **MODE (モード) セレクター** – TRACK WRITE (トラック書き込み)、TRACK PLAY (トラックプレイ)、PATTERN PLAY (パターンプレイ)、PATTERN WRITE (パターンライト) のいずれかを選択します。
- ⑲ **電源 LED** – ユニットに電源が供給され、背面パネルの電源スイッチがオンになっている間、点灯します。

- ⑳ **DISTORTION ON/OFF (ディストーション オン/オフ)** – OFF (オフ) の時には、ディストーションはバイパスされ、ディストーション、トーンおよびレベルコントロールは作用しません。

- ㉑ **VOLUME (音量)** – 背面パネルの出力およびヘッドフォン出力端子の、出力レベルを調節します。必ず音量が下がっていることを確認してから、ヘッドフォンを装着してください。

## シーケンサー部

- ㉒ **D.C./BAR RESET (バー リセット) / CLEAR (消去)** – メモリーからのパターン消去、トラックの頭に戻る、およびトラックへの最後のパターン追加を通知する際に使用されます。
- ㉓ **SCALE スケールセレクター** – これにより、スケールセレクタースイッチの横にあるノートイメージ間の関係で示されるように、各クォーターノートビートに割り当てられるステップ数が決まります。れているように、何ステップに分解するかを決定します。
- ㉔ **PATTERN GROUP (パターングループ) インジケーター** – MODE (モード) の位置によって、パターンが、いずれかのパターングループインジケーターが点灯します。
- ㉕ **PATTERN GROUP (パターングループ)** – MODE (モード) セレクターの位置および、本装置が走行中か停止中かによって、異なる振る舞いをします。

# RD-6 コントロール

## ステップ 2: コントロール

- ① **START/STOP (スタート / ストップ)** – パターンおよびトラックのプレイ / 停止をします。プレイ中は LED が点灯します。
- ② **FUNCTION (機能)** – パターンおよびトラック書き込みの際、複数の用途で使用する、多目的スイッチです。
- ③ **STEP SELECTOR (ステップセクター)** – MODE セクターの位置および、本装置が走行中か停止中かによって異なる作用をする、16 個のボタンです。
- ④ **TAP (タップ)** – MODE セクターの設定および、本装置が走行中か停止中かによって異なる作用をします。
- ⑤ **OH/CH VOICE OUT (オープンハイハット / クローズドハイハット ボイス出力)** – オープン/クローズハイハットの、1/8 インチ (3.5 mm) アンバランス出力です。
- ⑥ **CP VOICE OUT (クラップボイス出力)** – クラップの 1/8 インチ (3.5 mm) アンバランス出力です。
- ⑦ **CY VOICE OUT (シンバルボイス出力)** – シンバルの 1/8 インチ (3.5 mm) アンバランス出力です。
- ⑧ **LT/HT VOICE OUT (ロータム / ハイタム ボイス出力)** – ロータム / ハイタムの 1/8 インチ (3.5 mm) アンバランス出力です。
- ⑨ **SD VOICE OUT (スネアドラムボイス出力)** – スネアドラムの 1/8 インチ (3.5 mm) アンバランス出力です。
- ⑩ **BD VOICE OUT (バスドラムボイス出力)** – バスドラムの 1/8 インチ (3.5 mm) アンバランス出力です。
- ⑪ **MIX OUT (ミックス出力)** – ¼ インチ (6.35 mm) アンバランス ミックス出力です。
- ⑫ **START/STOP (スタート / ストップ)** – フットスイッチを接続し RD-6 をスタート / 停止する際に使用する、¼ インチ (6.35 mm) 接続端子です。
- ⑬ **MIDI OUT/THRU (MIDI 出力 / スルー)** – 外部 MIDI 機器へ MIDI データを出力 / または MIDI 入力からのデータをダイレクトに別の機器へとチェインする端子です。
- ⑭ **MIDI IN (MIDI 入力)** – シーケンサーや DAW などの外部 MIDI 機器より MIDI を入力する端子です。
- ⑮ **USB** – コンピューターに接続し、アップデートや、USB MIDI DAW の制御に使用する端子です。
- ⑯ **POWER (電源)** – リズムデザイナーのオン/オフをおこないます。必ずすべての接続を完了してから、ユニットの電源をオンにしてください。
- ⑰ **DC INPUT (DC 入力)** – ここに付属の 9V DC アダプターを接続します。電源アダプターは、100V - 240V、50/60 Hz に対応した AC コンセントに接続してください。必ず、付属の電源アダプターのみをご使用ください。

### 背面パネル

**注意** - ボイス出力のいずれかにジャックを挿入していると、そのボイスがミックス出力から除外されます。

# RD-6 はじめに

## ステップ 3: はじめに

### 概要

本スタートガイドでは、RD-6 アナログリズムデザイナーのセットアップ方法解説および、機能の簡潔なご紹介をいたします。

### 接続

RD-6 をお使いのシステムに接続する際には、本マニュアル冒頭の接続ガイドをご参照ください。

### ソフトウェア セットアップ

RD-6 は USB クラスコンプライアント MIDI 機器ですので、ドライバをインストールする必要はありません。RD-6 を Windows および MacOS で使用する際、いかなる追加ドライバーも不要です。

### ハードウェア セットアップ

お使いのシステム内の接続をすべて済ませます。接続をおこなっている間、RD-6 の電源はオフのままにしておいてください。

必ず RD-6 に付属の電源アダプターをご使用ください。サウンドシステムの電源がオフになっていることをご確認ください。

RD-6 の電源をオンにしてから、パワーアンプリファーマをオンにし、電源を落とす際は、RD-6 を最後にオフにします。そうしていただくことで、スピーカーのポップノイズやボンというノイズの発生を防ぎます。

### ウォームアップタイム

レコーディングやライブパフォーマンスの前に、ぜひ 15 分以上のウォームアップタイムを設けてください (温度の低い場所から運び込んだ場合は、さらに時間を延長してください)。それにより、精密アナログ回路が通常使用温度に達する時間を確保できるため、正確な性能を発揮できます。

### 同期 (SYNC) およびクロックタイプの設定

ステップキー 1、2、3 または 4 はそれぞれ、クロックソース INT (内部)、MIDI、USB、または TRIG (トリガー) に対応します。

ステップキー 5、6、7 または 8 はそれぞれ、クロックレート 1PPS、2PPQ、24PPQ、または 48PPQ に対応します。

- Function (機能) ボタンを押します。
- シーケンスをプレイ中でないことをご確認ください。
- PATTERN GROUP (パターングループ) および WRITE/NEXT (書き込み / 次) ボタンを同時に押し、同期 (シンク) 設定モードに入ります。
- セレクター1-8 の LED が点灯し、現在のクロックソース (1-4) およびクロックレート (5-8) が点滅します。3 秒以内に変更をおこないます。
- ステップキー1、2、3 または 4 を押し、各クロックソース INT、MIDI、USB または TRIG に変更します。

- ステップキー 5、6、7 または 8 を押し、各クロックレート 1PPS、2PPQ、24PPQ または 48PPQ に変更します。
- 他のボタンを押すか、その後変更をおこなわずに 3 秒間が経過すると、変更が保存されます。
- 選択した設定を確認するには、ステップ 3 を繰り返します。

### MIDI チャンネル選択

FUNCTION (機能) ボタンを長押ししながら、PATTERN GROUP (パターングループ) を押し、MIDI チャンネル設定モードに入り、ステップキー 1-16 を押し、チャンネルを選択し、PATTERN GROUP を押し、MIDI トランスミット (出力) および受信 (入力) を切り替えます。

### バッチベイ部

バッチベイ部を使用し、別のユニットやモジュラーシンセサイザー機器に接続して、多彩なサウンドを創造することが可能です。接続には標準 3.5mm TS を用い、ポルテージ定格は仕様表に記載されています。RD-6 はここに接続をしなくても動作しますが、この部分はお使いのシステムの拡張に利用します。



**警告:** 3.5mm 同期入力、過入力にならないようにしてください。

本装置は、仕様表に記載の電圧レベルにのみ厳格に対応します。3.5mm 出力は、出力電圧に対応した入力端子にのみ接続してください。この指示に従わない場合、RD-6 や外部ユニットに損傷が生じる恐れがあります。

### ファームウェア アップデート

定期的に当社ウェブサイト [Behringer.com](http://Behringer.com) をご訪問いただき、Behringer Synth Tool アプリのアップデートをご確認ください。

アプリケーションは最新のファームウェアファイルを探知し、ダウンロードして、RD-6 のアップデートをおこないます。Synth Tool アプリは RD-6 の設定変更の一部にも使用します。

### パターンの書き込み

- PATTERN WRITE (パターン書き込み) モードを選択します。
- ステップキー 1-16 のいずれかを選択します。
- START (スタート) を押します。
- デフォルトのパターン長は 16 ステップです。エンドパターンポイントの設定は、FUNCTION/LAST STEP (機能 / 最終ステップ) を長押しし、パターンを終了するステップキーを選択しておこないます。
- コントロールでプログラムする、インストゥルメントを選択します。
- インストゥルメントを鳴らすタイミングのステップを選択するか、TAP (タップ) ボタンを使用して、リズムをリアルタイム入力します。
- 他のインストゥルメントについても、ステップ7を繰り返します。パターン書き込みを終了するには、STOP (停止) を押しします。

### パターンプレイモード

PATTERN PLAY (パターンプレイ) モードでは、ステップキー (1-16) を押し、プレイするパターンを選択します。PATTERN GROUP (パターングループ) ボタンで、2 つのパターンバンクを切り替えます。プレイ中にパターン書き込みモードに切り替え、リアルタイム編集をおこなうことも可能です。

### パターンチェーン

PATTERN WRITE/PLAY (パターン書き込み / プレイ) では、最初のパターンを長押ししながらチェーンの最後のパターンを押すことで、最大 16 パターンで構成されるグループにすることが可能です。これにより、最大 256 ステップを、1 つの連続シーケンスとしてプログラムできます。

### トラック書き込みモード

トラックを 1-8 より選択します。CLEAR/BAR RESET (消去 / バー リセット) ボタンを押して、トラックの頭に戻ります。RD-6 のプレイを開始し、任意のパターンを選択して、WRITE/NEXT (書き込み / 次) ボタンを押し、次のパターンを選択して、WRITE/NEXT ボタンを再度押します。最後のパターンの後に CLEAR (消去) ボタンを押し、それから WRITE/NEXT ボタンを押します。これにより、最後のパターンが選択されていることをシーケンサーに通知します。

### TAP (タップ)

本ボタンは、MODE (モード) セレクターの設定および、本機器が走行中/停止中であるかによって機能が変わります。

PATTERN WRITE (パターン書き込み) モードで走行中の場合、リアルタイム タッププログラミングをおこないます。

PATTERN PLAY (パターンプレイ) モードで走行中の場合、TAP ボタンは STEP RESET (ステップリセット) ボタンとして動作し、ただちに、現在のパターンの最初のステップから再開します。

TRACK PLAY (トラックプレイ) または TRACK WRITE (トラック書き込み) モードで停止中の場合、TAP ボタンは、選択しているトラックを 1 小節前に進めます。

TRACK PLAY (トラックプレイ) で走行中の場合、Tap ボタンを押すと、ただちにトラックを、マークを設定してある小節に戻し、そこから通常通りにプレイ継続します。

TRACK WRITE (トラック書き込み) モードで走行中の場合、Tap ボタンを押すと、WRITE/NEXT (書き込み / 次) として機能し、現在聞こえているパターンをトラックメモリーに書き込み、それに応じて割り当てられた小節番号を先送りします。

## RD-6 はじめに

### ステップ 3: はじめに

この WRITE/NEXT (書き込み/次) 機能は、パターンユニット全体に適用されます。もし、Tap ボタンを使用してチェインドパターンをトラックに書き込んだ場合、小節番号は、チェインドパターンに含まれる小節数だけ先送りされます。

#### ランダムパターン

PATTERN WRITE (パターンライト) モードでは、パターンのプレイ中であっても停止中であっても、CLEAR (消去) および START/STOP (スタート/ストップ) を同時に押すことで、ランダムパターンを生成します。

**注意:** 現在選択中のパターンが上書きされます。

#### トリガー出力

RD-6 には、2 つの独立した、プログラマブルな TRIGGER OUTPUTS (トリガー出力) が装備されています。これにより、他のシンセサイザーやシーケンサーなどと接続できます。各トリガー信号は、いずれも外部機器のトリガーまたはゲート入力に適した 15V の正パルスです。

Behringer MS-1 のようなシンセサイザーは、自身のオシレーター (発振器) を処理するため、ゲートされています。トリガーは、シンセサイザーのアールペジオのリズムおよびレート制御にも使用します。

2 つの TRIGGER (トリガー) 出力は、ロータムまたはハイタム位置にプログラムしたリズム、Track/Program (トラック/プログラム) セレクター およびプログラミング で決定されるリズムに対応します。

これらのインストゥルメントは TRIGGER OUT (トリガー出力) と同時使用もできますし、また TRIGGER OUT で使用する目的でリズムをプログラムし、各 INSTRUMENT MIX LEVEL (インストゥルメントミックスレベル) コントロールで消音する使い方もできます。

## 技術仕様

声	
音の数	8
タイプ	アナログ
同時音声数	8
音声コントロール	
アクセント	レベル
バスドラム	レベル
スネアドラム	レベル
低いトム、こんにちはトム	レベル
シンバル、拍手	レベル
オープンハット、クローズドハット	レベル
接続性	
電源入力	DC 入力コネクタ
電源スイッチ	プッシュボタンのオン/オフ
USB (MIDI)	USB 2.0、タイプ B
MIDI イン、アウト / スルー	2x5 ピン DIN
起動停止	1x¼" TS
混ぜる	1x¼" TS、不平衡、1kΩ インピーダンス
意見を言う	6x¼" TS、不平衡、100Ω インピーダンス
同期 / 同期	2x¼" TRS (ヒントは時計、リングは開始メッセージ) 以上: 2.5V
トリガーアウト	LT および HT2x +15V、1PPS / 24PPQ / 48PPQ 50% パルス長、2PPQ ナローパルス長。
電話	1x¼" TRS、ステレオ、15Ω インピーダンス

USB	
USB	クラス準拠の USB 2.0、タイプ B
サポートされているオペレーティングシステム	Windows7 以降 MacOS X10.6.8 以降
パターン / ストレージ	
容量	2x16 パターン
ステップ	16 ステップ
電力要件	
外部電源アダプター	9V DC、670 mA
消費電力	最大 2W
インジケータ	電源 LED
環境	
動作温度範囲	5°C – 45°C (41°F – 113°F)
物理的	
寸法 (H x W x D)	56 x 305 x 165 mm (2.2 x 12 x 6.5")
重量	0.9 kg (2.0 lbs)
積み込み重量	1.6 kg (3.5 lbs)

## MIDI 情報

### MIDI message

	状態	2 番目	三番	パラメータ	説明
チャンネルメッセージ	8n	kk	vv	[0, 7F]	ノートオフ
	9n	kk	vv	[0, 7F]	ノートオン
	Bn	7B	—	—	すべてのメモをオフ
SysRT	F8	—	—	—	タイミングクロック
	FA	—	—	—	開始
	FB				継続する
	FC				やめる

### 例

ボイス	MIDI ノート番号
バスドラム	36、0 x 24
スネアドラム	40、0 x 28
ロートム	45、0 x 2D
こんにちはトム	50、0 x 32
拍手	39、0 x 27
シンバル	51、0 x 33
オープンハット	46、0 x 2E
閉じた帽子	42、0 x 2A

関数	コマンド (1)
に注意してください	90 3C 64
注意してください	80 3C 40
すべてのメモをオフ	B0 7B

注: 1、MIDI 入力チャンネル 1。

## その他の重要な情報

### JP その他の重要な情報

**1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:** ユニートをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

**2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

**3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You